



かるかる

2018年 **6**月 vol.273

ネコは人間とともに世界に広まった。

岩合光昭の

世界ネコ歩き 写真展

MITSUAKI IWAGO'S
WORLD "CATS" TRAVELOGUE

©Mitsuaki Iwago

2018年 7月14日(土) ▶ 8月26日(日)

開館時間：9:30～17:30(入館は17:00まで)
休館日：月曜日(ただし月曜日が祝日・振替休日の場合は開館し、翌火曜日が休館)
観覧料：一般1000(800)円、高大生600(400)円、小中生400(200)円
※()内は前売りおよび20名以上の団体料金。なお障害者手帳を提示の方は無料。
年長者施設利用証(北九州市交付のもの)を提示の方は2割減免。

北九州市立美術館本館
〒804-0024 北九州市戸畑区西鞆ヶ谷町21番1号
Tel.093-882-7777 <http://www.kmma.jp>



会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
大ホール	九州ハワイアン協会 第27回 北九州地区フラフェスティバル	3(日)	10:30	一般 ¥1500 子ども(15歳以下) ¥500 ※大人1名につき子ども1名 無料、子ども券は当日販売のみ ※当日一般 ¥200増	九州ハワイアン協会 096(359)3738
	ヤングアメリカンズ・ジャパンツアー 2018夏 in 北九州	10(日)	18:00	¥1000	NPO法人 じぶん未来クラブ 080(7000)2275【佐野】
	山内恵介 熱唱ライブ 2018 ~新たなる夢の扉へ~	14(木)	14:00	¥6000 ※対象:小学生以上	九州労音 0952(26)2351
	信知寿の会	17(日)	11:00	¥3000 ※中学生以下無料	坂東信知寿 093(371)6006
	西日本ハワイアン協会 第4回北九州地区フラフェスティバル	23(土)~ 24(日)	10:30	¥1500 ※当日 ¥200増	西日本ハワイアン協会事務局 096(342)6670【山口】
	小倉北区連合婦人会 民踊のつどい	28(木)	10:30	¥500	小倉北区連合婦人会 093(531)9944【安部】
	かがやけ! 第16回えがおの輪 ワンコインコンサート	30(土)	13:00 12:00開場	¥500 ※小学生以下無料	百瀬ミュージックボランティアグループ 093(962)7977
中劇場	第1回北九州ひまわり寄席 柳家花緑 桂春蝶 二人会	2(土)	14:00	¥4000 ※対象:小学生以上 ※当日 ¥500増	一般社団法人 北九州エンター テインメント推進協会 093(561)1189
	Hula Halau O PuaLei Ho'ike	3(日)	14:00	¥1000	Hula Halau O PuaLei (フラ ハーラウ オ プアレイ) 080(3228)2488【田原】
	第11回北九州歌謡グランドフェスティバル	10(日)	10:15 10:00開場	¥1000	北九州歌謡研究会 093(921)4652【高下】
	なおみ&ふじおクリニック “歓びの波動”コンサート Vol.10	16(土)	15:00	¥1000 ※対象:小学生以上 ※「国境なき医師団」「九州北 部豪雨・朝倉市災害義援金」 チャリティー	なおみ&ふじおクリニック 093(653)4658【中村】
	フラメンコ教室 グラシア・フラメンカ発表会 Vol.4	17(日)	17:30	一般 ¥2000 学生(小~高校生) ¥1000 ※小学生未満無料 ※当日一般 ¥500増、学生 ¥250増	フラメンコ教室 グラシア・フラメンカ 090(9406)5696【占部】
	PARCOプロデュース2018「ハンクマン」 マーティン・マクドナーの超話題作を長塚圭史の演出で日本初上演!	21(木) 22(金)	18:30 13:30	一般 ¥7500 ユース(24歳以下) ¥5500 高校生(的)チケット ¥1500 ※対象:小学生以上 ※全席指定	北九州芸術劇場 093(562)2655
小劇場	シャンテ・アミ うたの祭典	3(日)	14:00	¥1000	シャンテ・アミ 実行委員会 090(7988)8661【あきもと】
	TAKAKOプライベートレッスンクラス ラ・ニューイ シャンソンコンサート	10(日)	14:30	¥1000 ※対象:小学生以上	スタジオ アン・ドゥミ 090(3669)1139【いなお】
	開館20周年記念トークショー 「TVプロデューサーと脚本家が語る清張ドラマの世界」 内山聖子(テレビ朝日ゼネラルプロデューサー)、浅野妙子(脚本家)	21(木)	14:00	無 料 ※要事前申込(往復はがき9枚 必着)、定員200名(抽選あり)	松本清張記念館 093(582)2761

会場	イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
市民ギャラリー	カトリア画会作品展 絵画	6(水)~12(火)	無 料	カトリア画会 093(561)9582
	以呂波会習作展 書道	13(水)~19(火)	無 料	以呂波会 090(1875)9138
	第4回光祥会展 書道	20(水)~26(火) 10:00~18:00	無 料	光祥会 090(3074)5749
	足立陶友展 陶芸作品	6/27(水)~7/3(火) 10:00~18:00	無 料	足立陶友会 090(7395)1671

八幡東 北九州市立響ホール

〒812-0001 北九州市東区平野1-1-1 電話093(662)4010 八幡駅 徒歩15分 八幡駅入口第一 徒歩10分
 国際村交流センター 徒歩3分 休年末年始、隔月1回(不定休) 240台(有料)

イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
高見女声コーラス第17回 混声コーラス・ソレイユ第3回 演奏会	2(土)	14:00	一般 ¥1000 ※全席自由	高見女声コーラス 混声コーラス・ソレイユ 093(651)4790【三原】
第72回 北九州合唱祭	3(日)	12:00	一般 ¥800 ※小学生以下無料 ※全席自由	福岡県合唱連盟 北九州支部 090(5389)4631【山下】
響ホール25th 石坂団十郎 & 小菅優デュオコンサート 【オール・ベーター・ヴェン・プログラム】チェロ・ソナタ 第1番 へ長調 op.5-1 ほか	9(土)	15:00	一般 ¥3500 25歳以下 ¥2000 ※対象:小学生以上 ※全席指定	響ホール音楽事業課 093(663)6661
ソノリテコンサート	10(日)	13:00	無料 ※全席自由	ソノリテ 093(631)5325【三藤】
ピアノ発表会	17(日)	13:30	無料 ※全席自由	090(8299)4222【道家】
響ホールフェスティバル2018 0歳からの踊る音楽会 「ラ・ラ・ランド」より アナザー・デイ・オブ・サン ほか	23(土)	11:30	大人 ¥2000 こども(0歳~小学生) ¥1000 親子ペア(大人1+こども1) ¥2500 ※全席指定	響ホール音楽事業課 093(663)6661
響ホールフェスティバル2018 ショート&ドラマチックオペレッタ「こうもり」~ Dr.ファルケの復讐劇~ 与那城敬、大西ゆか、中島桃子、山口幸志 ほか	24(日)	15:00	大人 ¥2500 25歳以下 ¥1500 ※対象:小学生以上 ※全席指定	
北九州市立響ホール開館25周年記念 NHKベストオブクラシック 公開収録 高橋アキ【ピアノ】、つるの剛士【俳優/朗読】	29(金)	17:00	無料 (要整理券) ※要事前申込(往復はがき6/5 必着、抽選あり)	西南女学院高等学校 音楽部OG会 090(7384)7090【持橋】
西南女学院高等学校音楽部OG会・ジョイントコンサート	30(土)	14:00	無料 (要整理券) ※対象:小学生以上 ※全席自由	

門司 出光美術館(門司)

〒812-0001 門司区東港町2-3 電話093(332)0251 開館10:00~17:00(入館は閉館30分前まで)
 門司港駅 徒歩8分 門司IC 約10分 休月曜日(ただし月曜日が祝日および振替休日の場合は開館)、展示替期間、年末年始

イベント	期間	時間	入場料	問合せ先
近代日本の美 上村松園・東山魁夷をはじめ近代に活躍した巨匠たちの作品をご紹介します	開催中~6/17(日)		一般 ¥700 高・大学生 ¥500 ※中学生以下無料(保護者同伴)	出光美術館(門司) 093(332)0251
祈りのかたち—仏教美術入門 仏画や仏像など各時代の仏教美術作品を一堂に。ルオーの油彩画も展示	6/29(金)~9/2(日)		一般 ¥700 高・大学生 ¥500 ※中学生以下無料(保護者同伴)	
列品解説 学芸員が展示作品をわかりやすく解説します	10(日)	11:00 14:00	無料 ※入場料が必要	

門司 旧門司税関

〒812-0001 門司区東港町1-24 電話093(321)4151 開館9:00~17:00
 門司港駅 徒歩3分 休なし

会場	イベント	期間	時間	入場料	問合せ先
1階	プレアデス アコースティックオールディーズライブ	3(日)	14:00~16:00	無料	門司港レトロ 総合インフォメーション 093(321)4151
2階	小倉みなみフォトフレンズ会員展	5/29(火)~6/4(月)		無料 ※5/29(火)は12:00から、6/4(月)は13:00まで	
	雲城山焼陶芸グループ作陶展	7(木)~11(月)		無料 ※11(月)は16:00まで	
	フォトサークル錦町写真展	12(火)~18(月)		無料 ※12(火)は12:00から、18(月)は16:00まで	
1~2階	フォトゼミ湯川	19(火)~25(月)		無料 ※19(火)は12:00から、25(月)は13:00まで	
1~2階	こんしん行脚展 —あのね!母さん—	6/28(木)~7/2(月)		無料	

門司 門司港レトロ展望室

〒812-0001 門司区東港町1-32 電話093(321)4151 開館10:00~22:00(カフェは20:30まで※天空ジャズ開催日以外のカフェの営業時間は「関門海峡&門司港レトロ」ホームページをご確認ください)、入館は閉館30分前まで 門司港駅 徒歩5分 休年4回

イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
天空ジャズ 出演:トニックオブノーツ	2(土)	18:30 19:30	門司港レトロ展望室入館料必要 大人 ¥300 小人 ¥150	門司港レトロ 総合インフォメーション 093(321)4151

門司 旧大連航路上屋

〒812-0001 門司区西海岸1-3-5 電話093(322)5020 開館9:00~17:00
 門司港駅 徒歩5分 休年4回

会場	イベント	期間	時間	入場料	問合せ先
2階多目的ホール	マンスリージャズ 出演:ブルールイスクインテット	10(日)	14:00~16:00	無料	門司港レトロ 総合インフォメーション 093(321)4151
	マンスリーシアター 上映作品:哀愁 1940年アメリカ映画 出演:ビビアン・リー、ロバート・テイラー	24(日)	14:00~16:00	無料	

門司 松永文庫

門司区西海岸1-3-5(旧大連航路上屋1F) ☎093(331)8013 開9:00~17:00
 門司港駅 徒歩5分 休月曜日(祝日の場合は翌日休館)

イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
松永文庫企画展 「市制55周年記念 北九州市ゆかりの作家原作映画資料展」その1	4/11(水)~7/8(日)	無料	門司港レトロ 総合インフォメーション 093(321)4151

門司 門司港美術工芸研究所

門司区東港町6-72 港ハウス2F ☎093(322)1235 開10:00~17:00
 門司港駅 徒歩5分 休月曜日(祝日の場合は開館)、年末年始

イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
常設展 油彩画・日本画・彫刻・染色など、約50点を展示します	開催中	無料	門司港美術工芸研究所 093(322)1235

小倉北 アルモニーサンク北九州ソレイユホール

小倉北区大手町12-3 ☎093(592)5405 開演によって異なります
 小倉駅 徒歩30分 西小倉駅 徒歩15分 ソレイユホール・ムーブ前 徒歩1分
 休年末年始、毎月1回(不定休) 80台(有料)

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
大ホール	第58回 吹奏楽祭	2(土)	14:00	一般 ¥800 学生 ¥600	北九州吹奏楽連盟 090(1340)5364【土谷】
		3(日)	10:00	※当日 ¥200増	
	三山ひろしコンサート 皆さまの心に響く“ビタミンボイス”をお届けします!	8(金)	19:00	A席 ¥6000 B席 ¥5500 ※全席指定	MIN-ON 北九州 093(884)1833
	北九州市民文化大学 講師:東儀秀樹(雅楽師)	9(土)	13:30	関係者 (随時募集)	北九州市民文化大学 093(522)5008
	ザ・ニューズペーパー 日々刻々と変わる「旬なニュース」をコントに。	16(土)	15:00	全席指定 ¥5000 ※対象:小学生以上	北九州ソレイユホール 093(592)5405
栄光のグループサウンズ THE G.S. 最強のGSメンバーでお届けする、夢のGSライブです。	23(土)	15:00	全席指定 ¥6000 ※対象:小学生以上		

小倉北 北九州市漫画ミュージアム

小倉北区浅野2-14-5(あるあるCity5F・6F) ☎093(512)5077
 開11:00~19:00(入館は閉館の30分前まで) 小倉駅 徒歩2分 休火曜日、年末年始

会場	イベント	期間	時間	入場料	問合せ先
ミニギャラリー 常設展示室	海峡マンガ合戦~中国ブロック F-22KAZE~ 日本漫画家協会九州ブロックと中国ブロックに所属する作家のミニ個展シリーズ。	5/12(土)~7/13(金)		無料 常設展示入場料が必要	北九州市漫画ミュージアム 093(512)5077
	北九州漫画家列伝~ライトノベル作家特集~ ライトノベル作家について出版資料等で紹介			無料 常設展示入場料が必要	
	銀河鉄道999名言書作展「書の銀河」 銀河鉄道999アニメ放映40周年を記念し名言の書を展示		6/2(土)~8/2(休)	無料 常設展示入場料が必要	
イベントコーナー 常設展示室	漫画スクール テーマ①動物の描き方と擬人化 ②背景と人物(パースとは)	10(日)	①3(日) 13:00~ ②24(日) 16:00	無料 常設展示入場料が必要 ※対象:小学3年生以上 ※要事前申込、定員各先着20名	
	漫画体験 漫画の模写や塗り絵、ペンの使い方など、初心者でも参加できます。		30(土)	13:30~ 16:30	

小倉北 北九州市立小倉城庭園

小倉北区内1-2 ☎093(582)2747 開9:00~18:00(4月~10月)入館は閉館の30分前まで
 小倉駅 徒歩15分、西小倉駅 徒歩10分 休なし

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
展示室 企画	~謎多き職人集団の足跡をたどる~ 小倉鋳物師と芦屋鋳物師 中世から近世にかけて活躍した小倉鋳物師と芦屋鋳物師の足跡を紹介します。	開催中~6/24(日)		一般 ¥300 中学生 ¥150 小学生 ¥100	北九州市立小倉城庭園 093(582)2747
研修室	講演会「15世紀に海を渡った小倉鋳物師」 茶の湯釜の名品「芦屋釜」を生み出した芦屋鋳物師の足跡をたどります。		9(土)	14:00	
立礼席 和室	表千家大学生茶会 表千家流茶道を習っている市内の大学生がお点前を披露します。	17(日)	10:00	¥700 (薄茶二席・入館料込)	


小倉北 北九州市立こども文化会館(併設津市民センター)


小倉北区下津4-3-2 ☎093(592)4152 開9:00~17:00
 小倉北特別支援学校 徒歩1分、下津 徒歩5分 休月曜日(祝日の場合は翌日休館)、年末年始 20台

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
児童劇場	第125回 ファミリー人形劇場 親子や家族で人形劇を楽しむ 出演:人形劇 かあたん、人形劇団 ののはな	3(日)	14:00	無料	北九州市立こども文化会館 093(592)4152
図書室	ビデオ一む 子ども向けアニメの上映 「10ぴきのかえる」 「みんな いちばん!」	17(日)	14:00	無料	
	おはなしワールド 絵本の読み聞かせ、紙芝居、手遊びなど 出演:おはなしポケット	23(土)	14:00	無料	

小倉北 **北九州市立男女共同参画センター・ムーブ**   所小倉北区大手町11-4 画093(583)3939 画9:30~21:30 画「西小倉駅」徒歩15分 画「ソレイユホール・ムーブ前」徒歩1分 画所内整理日(毎月最終木曜日及び年4回の第2木曜日)、年末年始 画有料

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
ホール	永井龍雲還暦ライブ2018 アコースティックギターの弾き語り	3(日)	15:00	¥5000	(有)サイキ 092(555)4999
	詩音カラオケ大会小田純平杯 カラオケ大会	10(日)	10:00	¥2000	のなかカラオケ教室 090(5283)7979
	30fingersピアノコンサート ピアノジョイントコンサート	23(土)	14:00	一般 ¥2000 学生 ¥500	三重野 080(1732)5394
	北九州合同ダンス同好会第13回発表会 ダンスの発表会	24(日)	13:30	一般 ¥2000 ※当日¥500増	北九州合同ダンス同好会 090(8660)0315【中岡】

小倉北 **北九州市立美術館分館**  所小倉北区室町1-1-1 リバーウォーク北九州5F 画093(562)3215 画10:00~18:00(入館は閉館30分前まで) 画「西小倉駅」徒歩5分、「小倉駅」徒歩10分 画「室町・リバーウォーク前」徒歩1分 画年末年始および館内整理日 画有料

会場	イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
	ブルーノ・ムナーリ  20世紀イタリアを代表する芸術家、デザイナーのブルーノ・ムナーリ。絵画、彫刻、グラフィック・デザインなど一挙に公開。	6/23(土)~8/26(日)	一般 ¥1100 高大生 ¥600 小中生 ¥400 ※前売り及び20名以上の団体料金 一般 ¥900 高大生 ¥400 小中生 ¥300	北九州市立美術館分館 093(562)3215

小倉北 **小倉井筒屋**  所小倉北区船場町1-1 画093(522)3111(代) 画10:00~19:00※各最終日は16:00に閉館 画「小倉駅」徒歩7分 画不定休

会場	イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
小倉北 大画廊7階	生誕90周年記念 手塚治虫版画展 日本漫画界の神様と慕われる手塚治虫の名作を版画にした貴重な作品展。	13(水)~19(火)	無料	小倉井筒屋 大画廊・小画廊 093(522)2521
新館7階 大画廊	佐賀県伝統的地場産品指定 鍋島緞通 吉島家展 江戸時代、鍋島藩主に愛用された鍋島緞通を復元、織り上げた作品40点を展示。	5/30(水)~6/5(火)	無料	小倉井筒屋 大画廊 093(522)2521
	~ヨーロッパ浪漫の旅~ 井口由多可洋画展 雄大な自然とヨーロッパの美しい建造物をダイナミックな構図で描いた作品を展示。	6(水)~12(火)	無料	
	~画業70周年 花とイングリッシュガーデンを描く~ イーダ・ヴァリッキオ絵画展 優しい色彩で花々を描き、世界的に親しまれている現代女流印象派画家の絵画展。	20(水)~26(火)	無料	
新館7階 小画廊	棟方志功展 20世紀の美術を代表する巨匠の作品を展示。	6/27(水)~7/3(火)	無料	小倉井筒屋 小画廊 093(522)2521
	美濃焼 加藤 健 茶陶展 志野を中心とした茶陶作品を紹介。	5/30(水)~6/5(火)	無料	
	水森亜土 新作版画展 世代を超えて愛される亜土ちゃんのかわいい世界を、新作版画を中心に紹介。	6(水)~12(火)	無料	
	えもと きよひこ木版の世界 福岡在住の木版画家・えもときよひこの素朴であたたかみのある作品を紹介する。	20(水)~26(火)	無料	
	夢の世界をのぞいてごらん ノブ・サチ油絵展 子供たち・夢・希望をテーマに描いた新作約30点を展示。	6/27(水)~7/3(火)	無料	

小倉北 **小倉城**   所小倉北区内城内2-1 画093(561)1210 画9:00~18:00(4月~10月)入館は閉館の30分前まで 画「小倉駅」徒歩15分、「西小倉駅」徒歩10分 画なし

会場	イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
1階 天守閣	小倉城 所蔵品展  小倉城所蔵品(書・絵・甲冑他)約30点を展示	開催中	一般 ¥350 中高生 ¥200 小学生 ¥100	小倉城 093(561)1210
4階 天守閣	第68回 武蔵・小次郎まつり懐古展  武蔵・小次郎まつりのスナップ写真を展示	8(金)~17(日)	一般 ¥350 中高生 ¥200 小学生 ¥100	

小倉北 **水環境館**  所小倉北区船場町1-2 画093(551)3011 画10:00~19:00 画「小倉駅」徒歩10分、「西小倉駅」徒歩10分 画「勝山橋」徒歩1分、「魚町」徒歩3分 画年末年始

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
多目的 ホール	「歌とピアノの奏べ」 歌:酒井 京子 ピアノ:湯田 美津子	6(水) 20(水)	14:00	無料	水環境館 093(551)3011

小倉北 **あるあるCity**  所小倉北区浅野2-14-5 画093(512)9566 画11:00~20:00 画「小倉駅」徒歩2分 画年中無休

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
7F シアター	bless4「We Are Warriors」15周年記念ツアー ワンマンライブ in FUKUOKA 出演 bless4	30(土)	[第1部] 12:30 [第2部] 17:00	第1部/第2部 ¥2500 通し券 ¥4500 (各回別途ドリンク代¥500必要) ※当日¥500増、通し券¥1000増 ※開場は開演の30分前、開場の15分前までにお越しください	あるあるCity 093(512)9566

※5月11日現在の情報です
※催しは内容など変更になる場合がございます

小倉南 小倉南生涯学習センター

所小倉南区若園5-1-5 画093(931)1286 画9:00~22:00 画「小倉南区役所」徒歩1分、「企教中学校前」徒歩2分
画(モノレール)「北方駅」徒歩12分 画(休)画曜日(祝日の場合は翌日休館)、年末年始

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
大ホール	吟詠剣詩舞道連盟青嵐 第19回吟詠コンクール	10(日)	13:00	無料	吟詠剣詩舞道連盟青嵐 090(9729)6944【岡本】
	北部九州吟詠剣詩舞連盟 第44回前期吟詠剣詩舞道大会	17(日)	9:30	無料	北部九州吟詠剣詩舞連盟事務局 090(7457)3676【大内】
	ジェリーズカーニバル キッズダンス	24(日)	11:00	無料	ジェリーズビーンズ 090(8355)8886【椎】
展示コーナー	小倉南区水墨画会(南美術協会)	3(日)~9(土)	9:00~17:00	無料 ※3(日)は12:00から、9(土)は12:00まで	小倉南水墨画会(南美術協会) 093(471)5831【松本】
	小倉南美術協会書部会員会友展 書道作品展	16(土)~23(土)	9:00~17:00	無料 ※16(土)は12:00から、23(土)は16:00まで	小倉南美術協会書部 093(473)9296【西谷】

若松 若松市民会館

所若松区本町3-13-1 画093(771)8131 画9:00~22:00
画「若松駅」徒歩1分 画「大橋通り」画「若松駅」画「若松市民会館前」徒歩2分 画(休)年末年始 画110台(共用)

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
小ホール	ヴェルデ音楽コンクール ピアノ部門 ピアノコンクール	9(土)	14:00	無料	ヴェルデ音楽コンクール事務局 092(451)6766
	106サウスインディアン の月亭方正落語会 落語会	24(日)	18:30	¥2500	DK企画 0832(27)4889【園田】

若松 現代美術センター CCA北九州

所若松区ひびきの2-5 画093(695)3691 画10:00~17:00(画覧会開催時のみ)
画市営バス「学研都市ひびきの」徒歩1分 画(休)年末年始

イベント	期間	時間	入場料	問合せ先
CCA20+ プロジェクト バンカー・パレス展 パリを拠点に活動する3人の若手建築家グループの作品	6/4(月)~8/10(金) (日・祝休み)		無料 ※土曜日は12:00から ¥1000	現代美術センターCCA北九州 093(695)3691
CCA北九州公開プログラム 「市民美術大学特別講座」 「美術界の話をしよう」 現代アート関連の美術館関係者による特別講座	16(土)	14:00~16:00	※要事前申込 ※会場:西日本工業大学小倉 キャンパス大講義室(小倉 北区室町)	

八幡東 北九州イノベーションギャラリー(産業技術保存継承センター)

所八幡東区東田2-2-11 画093(663)5411 画平日9:00~19:00、土・日・祝日17:00まで(入館は閉館30分前まで)
画「スペースワールド駅」徒歩5分 画「いのちのたび博物館」徒歩3分
画(休)画曜日(祝日の場合は翌日休館)、年末年始 画大型30台、普通300台(有料)

会場	イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
ギャラリー 企画展示	春企画展「~遊ぶ・学ぶ・作る~くらしを包むパッケージ展」 生活を支える包装技術。素材を生かして中身を守る、その知恵と工夫にスポットライトを当てる。	3/24(土)~7/1(日)	大人 ¥300 小人(小中学生) ¥100 ※小学生未満無料	北九州イノベーションギャラリー 093(663)5411

八幡東 北九州市立旧百三十銀行ギャラリー

所八幡東区西本町1-20-2 画093(661)9130 画10:00~18:00
画「八幡駅」徒歩5分 画(休)年末年始

イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
赤煉瓦コンサートvol.8 加来洋子 田元真木 林紋子 仁詩Hitoshi	3(日)	14:00	¥2000 ※当日¥500増	旧百三十銀行ギャラリー 093(661)9130
あじさい展 主催 新生流 双葉会	10(日)~11(月)		無料 ※11(月)は17:00まで	090(5723)5901【笠】

八幡東 北九州市立いのちのたび博物館(自然史・歴史博物館)

所八幡東区東田2-4-1 画093(681)1011 画9:00~17:00(入館は閉館30分前まで)
画「スペースワールド駅」徒歩5分 画「いのちのたび博物館」徒歩1分
画6/18~23、年末年始 画大型30台、普通300台(有料)

イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
室内講座「昆虫標本作製教室」 昆虫標本の作り方について、解説・実習を行います。	10(日)	10:00 13:00	無料 ※対象:小学生以上 ※要事前申込(小学生は保護者同伴)	いのちのたび博物館 093(681)1011
ジオハイキング「平尾台を楽しむスペシャル体験！」 洞窟を活用して、地上、地下と平尾台を満喫します。	10(日)	13:00	大人 ¥1070 小学生 ¥870 ※対象:小学生以上 ※要事前申込(小学生は保護者の参加が必要)	
室内講座「顕微鏡で見る美しい鉱物」 顕微鏡を使って鉱物を観察します。	10(日)	13:30	無料 ※対象:小学生以上 ※要事前申込(小学生は保護者同伴)	
恐竜教室「アースモールの恐竜たち」 アースモールの恐竜などを解説して回ります。	16(土)	14:00	無料 ※対象:小学生以上 ※要事前申込(小学生は保護者同伴)	

八幡東 **北九州市立児童文化科学館** etc.

所八幡東区桃園3-1-5 画093(671)4566 時9:00~17:00(入館は閉館30分前まで)
 画「市立児童文化科学館前」徒歩5分 休月曜日(祝日の場合は翌日休館)、年末年始

会場	イベント	期間	時間	入場料	問合せ先
プラネタリウム 屋上	星の観望のタベ プラネタリウム観覧後、月と惑星など春の星空を望遠鏡で観察	23(土)	19:30~ 21:00	大人 ¥100 中高生 ¥70 小学生 ¥50 ※中学生以下は保護者の参加が必要 ※先着100名、9時から電話受付開始	児童文化科学館 093(671)4566
会議室	サイエンスショー 「電気や磁石のおもしろ実験」	24(日)	14:00~ 14:50	無料	

八幡西 **北九州市立子どもの館** etc.

所八幡西区黒崎3-15-3コムシティ7F 画093(642)5555 時10:00~19:00
 画「黒崎駅」徒歩1分 画「黒崎バスセンター」徒歩1分 休6/6、20

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
イベント ひろば	ウルトラセブンと学ぼう ウルトラセブンと体を鍛えよう!最後に記念撮影ができます。 ※カメラは持参ください	10(日)	13:00 15:00	無料 ※一日フリーパス券または3カ月会員パスお持ちの方優先	北九州市立子どもの館 093(642)5555

八幡西 **黒崎井筒屋**

所八幡西区黒崎1-1-1 画093(643)5111(代) 時10:00~19:30※各最終日は17:00に閉場
 画「黒崎駅」隣接 休不定休

会場	イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
6階 ギャラリー	ゆふいん工房SORA 肥後仁美・博巳作陶展 水玉やストライプ柄のかわいい食器や、愛らしい動物のオブジェなど展示。	5(火)~10(日)	無料	黒崎井筒屋 ギャラリー 093(643)5268
	初夏を楽しむ 染・創作服と古布の洋服展 蚊帳やガーゼ、綿を染めて作った創作服と古布やカスリの洋服を展示。	12(火)~17(日)	無料	
	鍋島緞通展	19(火)~24(日)	無料	

八幡西 **黒崎ひびしんホール**
(北九州市立黒崎文化ホール)

所八幡西区岸の浦2-1-1 画093(621)4566 時9:00~22:00
 画「黒崎駅」徒歩10分 画(筑豊電鉄)「黒崎駅前」徒歩10分 画「熊手四ツ角」徒歩1分
 画「北九州都市高速」黒崎IC)5分 休年末年始

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
大ホール	北九州市制55周年記念 魅惑の鍵盤楽器シリーズ TRIO TIEPOLO オルガントリオ トリオ・ティエポロ ホールに響くバロックの美 瑞々しく荘厳なアンサンブル	3(日)	15:00	一般 ¥2500 友の会 ¥2000 高校生以下 ¥1000 ※対象:小学生以上 ※当日各¥300増 ※全席指定	黒崎ひびしんホール 093(621)4566
	第5回記念公演 北九州名流会	10(日)	11:00	要入場整理券	北九州名流会 0948(25)7779【野見山】
中ホール	北九州市制55周年記念 小松亮太 八重奏スペシャルライブ ~北九州黒崎にアルゼンチンの風が吹く~	17(日)	16:00	一般 ¥4500 友の会 ¥4000 ペア券 ¥8000 高校生以下 ¥3000 ※対象:小学生以上 ※当日各¥500増 ※全席指定	黒崎ひびしんホール 093(621)4566
	第36回新きたきゅう音楽塾 in 黒崎 ~音楽を楽しみながら極める~ みんなが知らないラッパのヒミツ! ~僕たち意外と深いんです~ 寺田康佑(トランペット)・田代泰地(トロンボーン)・広瀬美香(ピアノ)	14(木)	13:00	¥500	八幡西市民アカデミー事業 「かがやき塾」運営委員会 (八幡西区役所コミュニティ支援課) 093(642)1441(内線645)
	合唱の街・北九州 黒崎ひびしんうたごえホール ~みんなで楽しく歌いましょう~	19(火)	13:00	¥500	
	八幡西市民アカデミー事業「かがやき塾」	23(土)	14:00	¥500	

八幡西 **北九州市立美術館 黒崎市民ギャラリー**

所八幡西区黒崎3-15-3コムシティ3F 画093(644)5206 時9:00~19:00(入館は閉館30分前まで)※企画展により異なる
 画「黒崎駅」徒歩1分 休年末年始および館内整理日

会場	イベント	期間	時間	入場料	問合せ先
全展示室	第71回示現会北九州展 洋画	5/29(火)~6/3(日)		一般 ¥500 ※大学生以下無料 ※6/3日は17:00まで	一般社団法人 示現会 090(3370)7524【膳夫】
	八幡美術協会・会員展 洋画・日本画・版画・染色	5(火)~ 10(日)	9:30~ 17:00	無料 ※10日は16:00まで	八幡美術協会 093(651)0690【津國】
	親しむ書展 書	11(月)~ 17(日)	10:00~ 18:00	無料 ※11月は12:00から、17日は 16:00まで	親しむ書(清和支部) 090(5744)9176【堺】
展示室1	第20回新作能面展 能面	19(火)~ 24(日)	9:00~ 17:00	無料 ※24日は16:00まで	西日本能面研究会 093(246)4925【上田】
展示室2	絵画クラブ 八絵会発表会 洋画	18(月)~ 24(日)	10:00~ 17:00	無料 ※18日は12:00から、24日は 15:00まで	絵画クラブ 八絵会 093(602)0878【小林】
	日本書学館北九州地区書道展 書	6/30(土) ~7/1(日)	10:00~ 17:00	無料 ※6/30(土)は11:00から、7/1 日は16:00まで	日本書学館北九州地区協議会 080(6426)6478【二階】

八幡西生涯学習総合センター

所八幡西区黒崎3-15-3 093(641)9360
 時9:00~22:00 黒崎駅 徒歩1分 黒崎IC 約6分 休年末年始

会場	イベント	期間	時間	入場料	問合せ先
マルチメディアホール	北九州JAZZ BOSSA-NOVA CLUB 音楽のある街づくりミニコンサート 毎月第2土曜日に、ジャズやボサノバ、映画音楽などを演奏するミニコンサートを実施	9(土)	12:00~13:00	無料	北九州JAZZ BOSSA-NOVA CLUB 093(671)0411【石橋】

戸畑 北九州市立美術館本館

所戸畑区西鞆ヶ谷町21-1 093(882)7777 時9:30~17:30(入館は閉館30分前まで)
 美術館口 徒歩10分、「七条」「美術館口」より無料シャトルバス運行 210台
 休月曜日(祝日・振替休日の場合翌日休館)、年末年始

会場	イベント	期間	時間	入場料	問合せ先
企画展示室	森山安英 解体と再生 1987年以降の全シリーズを一堂に会し、生涯、北九州の地で「絵とは何か」を問い続けてきた森山の全貌を明らかにする初の大規模展覧会。	開催中~7/1(日)		一般 ¥1100 高大生 ¥600 小中生 ¥400 ※20名以上の団体料金 一般 ¥900 高大生 ¥400 小中生 ¥300	北九州市立美術館 093(882)7777
コレクション展示室	コレクション展Ⅰ 特集 色と形にみる音のはじまり 「色・形・音」をテーマに、色彩や造形などの視覚効果だけでなく、イメージをふくらませ、音や音楽を喚起させるような作品を厳選。	開催中~7/29(日)		一般 ¥150 高大生 ¥100 小中生 ¥50 ※20名以上の団体料金 一般 ¥120 高大生 ¥80 小中生 ¥40	
3階マルチメディアホール	映画「MORIYAMA 集団蜘蛛・森山安英インタビュー」 上映後、監督の宮川敬一氏と森山安英氏によるアフタートークを開催します。	10(日)	14:00~16:00	無料 ※定員100名	
市民ギャラリー	新世紀展 洋画	5(火)~10(日)	9:30~17:30	無料 ※10日は17:00まで	新世紀 福岡支部 093(791)4905【藤田】
市民ギャラリー	暮らしの中のパッチワークキルト展 パッチワークキルト・布絵	19(火)~24(日)	10:00~17:00	無料 ※24日は16:30まで	アンのお針箱 090(9589)7777【大辻】

戸畑 戸畑市民会館(ウェルとばた内)

所戸畑区汐井町1-6 093(871)7200 時9:00~22:00
 戸畑駅 徒歩1分 戸畑駅 徒歩1分 休年末年始

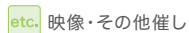
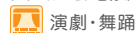
会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
大ホール	初夏のをどり 日本舞踊4団体と女性和太鼓の団体による発表会	10(日)	11:30	¥1000 ※当日 ¥500増	ウェルとばた総合案内 093(871)7200
	津軽三味線 高橋竹童 演奏会 津軽じょんがら節、おわら風の盆ほか。胡弓や三線を取り入れた奥深い演奏	16(土)	15:00	全席指定 ¥3800 ※対象:小学生以上	北九州労音 093(571)0227【松前】
	北九州記念混声合唱団 第35回定期演奏会 混声合唱曲「永訣の朝」 混声合唱による「日本抒情曲集」ほか	17(日)	14:30	一般 ¥1000 学生 ¥500 ※中学生以下無料	北九州記念混声合唱団 093(652)1700【岡崎】
中ホール	ピアノ演奏グループ「未来」第41回定期演奏会 ドビュッシー没後100年 ソロ、連弾の曲などを演奏します	1(金)	18:30	一般 ¥1500 学生 ¥1000	ピアノ演奏グループ「未来」 090(6898)3394【清川】
	諏訪まりかピアノ教室 発表会 日頃の練習の成果を皆さまにお聴きいただく楽しい演奏会です	16(土)	14:00	無料 要整理券	諏訪まりかピアノ教室 090(5930)0771【諏訪】
	ガチカル「This is SAX !!」(サクソ カルテット) 笑いが足りない方必見!! ガチカルと一緒に楽しい時間を過ごしてみませんか?	17(日)	14:00	一般 ¥2000 高校生 ¥1500	090(5084)5304【太田】

戸畑 戸畑生涯学習センター

所戸畑区中本町7-20 093(882)4281 時9:00~22:00 戸畑駅 徒歩5分
 戸畑駅 徒歩5分 休月曜日(祝日の場合は翌日休館)、年末年始

会場	イベント	期間	時間	入場料	問合せ先
多目的室	木本絵画教室展 油彩・水彩	19(火)~24(日)	10:00~17:00	無料 ※19日は12:00から、24日は16:00まで	木本絵画教室 093(581)3366【木本】
	木本重利個展 油彩	6/26(火)~7/1(日)	10:00~17:00	無料 ※7/1日は16:00まで	木本重利 093(581)3366

ジャンルごとに色分けして表記しています



※5月11日現在の情報です
 ※催しは内容など変更になる場合がございます

障 障害者手帳減免があります



2018年
6月号表紙
火野葦平故居「河伯洞」

北九州市芸術文化情報誌「CulCul・かるかる」

■発行日/2018.6.1 ■発行/北九州市

■編集・制作/ (公財)北九州市芸術文化振興財団 文化情報課 〒803-0812 北九州市小倉北区室町1-1-11-5F

TEL:093(562)3027 FAX:093(562)3029 E-mail:culcul@kicpac.jp 北九州市印刷物登録番号 第1809002A号

■北九州市制55周年記念

小松亮太八重奏スペシャルライブ

6月17日(日)午後3時30分開場、同4時開演。黒崎びびしんホール大ホール(八幡西区岸の浦)。出演はバンドネオン小松亮太・北村聡、バイオリン近藤久美子・原孝人、ビオラ吉田有紀子、チェロ松本卓以、コントラバス田中伸司、ピアノ鈴木厚志。曲目はピアソラ「リベルタンゴ」ほかを演奏予定。全席指定。入場料、一般4500円、友の会4000円、ペア券8000円、高校生以下3000円。当日各500円増。未就学児入場不可。



『小松亮太八重奏スペシャルライブ』チラシ

黒崎びびしんホール
093(621)4566

■祈りのかたち—仏教美術入門

6月29日(金)〜9月2日(日)。午前10時開館、午後5時閉館(入館は同4時30分まで)。出光美術館・門司(門司区東港町)。代表的な仏教美術作品を一堂に展示。ルオーの油彩画も併せて紹介。信仰が生み出した美の作品の数々にご期待ください。入館料、一般700円、高大生500円、中学生以下無料(保護者同伴)。毎週月曜日休館。出光美術館・門司
093(332)0251



『祈りのかたち—仏教美術入門』チラシ

00円、中学生以下無料(保護者同伴)。毎週月曜日休館。出光美術館・門司
093(332)0251

■響ホールフェスティバル2018

6月23日(土)と24日(日)の2日間。北九州市立響ホール(八幡東区平野)。今年は「音楽とダンス」をテーマに開催。響ホール室内合奏団がお届けする演奏会ではダンサーのイマ☆タカ、まず人々が優しく温かい。子育てがしやすい。移動が便利。こんな街、他になかなかないですよ」と嬉しいことを仰ってくださいました。門出に向けて、餞の言葉を送るべき私の方が霞むほどです。



『響ホールフェスティバル2018』ポスター

劇作家・演出家の泊篤志ほかとのコラボレーションは聴きどころ、見どころ満載。ワークショップなど多数開催(一部有料)。「0歳からの踊る音楽会」23日(土)午前11時開場、同11時30分開演。全席指定。入場料、大人2000円、子ども(0歳〜小学生)1000円、親子ペア(大人1十子ども1)2500円。【シヨート&ドラマチックオペレッタ「こうもり」】24日(日)ファルケの復讐劇〜24日(日)午後2時30分開場、同3時開演。全席指定。入場料、大人2500円、25歳以下1500円。未就学児入場不可。響ホール音楽事業課
093(663)6661



永野栄子

毎年、新年度には数々の出会いと別れが訪れます。出会いから新たな発見があったり、刺激があったり、活力をもらったり。そしてまた、別れから学ぶことも多くあります。

今回は、北海道へ引っ越していく方との別れがありました。その生徒さんは、お父さまの転勤でこの8年間になんと5回の

住めば都

「離れたくない。今までの引っ越しはそんなに苦ではなかったけれど、こんなに残念なのは初めてです」とお母さまが嘆いておられました。「北九州市はこの素晴らしいさをもっともっとアピールすべきですよ。何よりも

私自身、先祖代々小倉育ちですが、北九州人の気質ってとても照れ屋で、街のことも大好きなのに自虐的に表現してしまいがちです。再び人口百万人を目指して、北九州の魅力を素直にアピールしていきたいですね。

CulCulの主な設置場所

各区役所・出張所、市内JR駅、市民会館、市民センター、生涯学習センター、図書館、北九州空港、男女共同参画センター・ムーブ、井筒屋、モノレール駅、レインボープラザ、北九州芸術劇場プレイガイド・インフォメーション、響ホールなど

メディアサイト「CulCul・かるかる」がリニューアル!!

メディアサイト「CulCul・かるかる」がリニューアルしました。

- ① 市内の文化・芸術のイベント情報をらくらく検索
イベントカレンダーやイベント検索機能を追加しました
- ② ポータルサイトとしての機能充実
リンク集を追加しました
- ③ 北九州市芸術文化情報誌「CulCul・かるかる」の記事がホームページでも引き続きご覧いただけます

北九州市文化芸術メディアサイト

CulCul・かるかる

<http://www.kitakyushu-culcul.jp>



くその鳥を捕まえれば、人は幸せになるといふ
それぞれの人生が織り込まれた、15年目のハーモニー



2017年公演より(撮影:梅本昌裕)

2004年にスタートした市民参加による合唱公演、合唱物語「わたしの青い鳥」が、今年15周年を迎えます。例年、下は小学3年生から上は80歳を超える方まで幅広い世代の方々にご



2017年公演より(撮影:梅本昌裕)

参加いただき、延べ参加人数は1185名。今年も青い鳥の季節ですね。と楽しみにしてくださるリピーターの方、新しいチャレンジを、と初めて参加される方、多くの市民の皆さんによって育まれ、今では劇場に初夏を告げるレパトリー企画として定着してきました。メーテルリンクの名作「青い鳥」は、貧しい木こりの家に生まれた兄妹・チルチルとミチルが、夢の中で光の精と一緒に幸せの青い鳥を探して旅に出る物語。思い出の国、未来の国―さまざまな場所で青い鳥を見つけては、見つけた途端に色が変わ

また公演の特色の一つとして、合唱の合間に、舞台上の出演者や客席への生のインタビュがあります。「あなたが幸せを感じる時」「お金があったらしたいこと」「大切な人との思い出」。フィクションの物語の中に、今を生きる人々のリアルな人生が織り込まれ、物語のより奥深くへと観客を誘います。毎

つたり死んでしまったり...という物語から、人間にとって本当の幸せとは何か? という普遍的なメッセージを問います。合唱物語「わたしの青い鳥」は、この物語を元にしたオリジナルの詞と楽曲を、市民の皆さんの合唱と、プロのアーティストとの競演でつづる舞台です。約1カ月半、全15回のワークショップを重ねながら参加者は皆、歌うことを通じて物語に身を投じ、それぞれの人生や、幸せについて思いを巡らせます。



ワークショップの様子。世代を超えて一つ一つの言葉の意味と向き合いながら、歌を奏でます

Information

北九州芸術劇場プロデュース／市民参加企画
合唱物語「わたしの青い鳥2018」

【日程】7月1日(日)午後3時開演

【会場】北九州芸術劇場 中劇場

【原作】メーテルリンク「青い鳥」 【作曲】長生淳 【作詞】能祖将夫

【出演】合唱／ワークショップを受けた市民の皆さん、指揮／榎本英一
ソプラノソロ／伊藤晴、ピアノ／白石光隆、ナレーション／能祖将夫

【料金】大人1500円、子ども(3歳～中学生)1000円

マタニティ割引1000円(要証明書提示)

※全席自由・2歳以下入場不可

【お問合せ】北九州芸術劇場 093(562)2655

年参加される方の中には人生の定点観測のように、作品を歌うことを通じて自分を見つめ、成長を実感することもあれば、失ったものに気付くこともあるそう。そんな、それぞれの人生と二人三脚で歩んできたこの企画。そこにはごまかしようのない「生の軌跡」があります。一曲、一節に、それぞれの想いを込めて、今年も5月11日からワークショップが始まりました。想いが一つになり、想像を超えるハーモニーが生まれた時、歌声はつばさとなり、私たちが物語の世界へと導きます。15年目の青い鳥、今年はどうな物語が幕を開けるのでしょうか？

漫画 hiroba

漫画と北九州

北九州市漫画ミュージアム 専門研究員

表 智之 Tomoyuki Omote

ユニバーサルミュージアムに向けて 多言語音声ガイドの導入

「ユニバーサルミュージアム」という言葉があります。文化や言語、障害の有無などに規定されない、誰にでも分かりやすく使いやすいデザインという意味の「ユニバーサルデザイン」から派生したもので、誰にでも親しみやすいミュージアムであろう、という理念を示す言葉です。

例えば、バスの乗降口が路面と同じ高さのいわゆる「ノン

ストップバス」もユニバーサルデザインの一つです。映画館や劇場・講堂などでは、車椅子に座って観覧できる席を見かけます。今や街の風景にすっかり溶け込んでいるこの種の取り組みを、ミュージアムの中でも行っていくというわけです。

車椅子で来館される観覧者を例にとると、まずは通路の幅と展示物の高さが重要です。漫画ミュージアムが手掛ける漫画やアニメの展覧会は、日本画や西洋画や現代美術の展覧会に比べて作品の一点一点が小さいことから、展示空間に作品をぎっしりと詰め込みがちな傾向があります。展示手法の一つとしてそれ

でいい部分もありますが、通路まで狭くなってしまうだけではありません。他の観覧者とすれ違うことができるか、方向転換ができるかなど、一定の基準数値をもとに、我々は展示レイアウトの設計をしています。

悩ましいのは展示物の高さです。展示物を車椅子から見るの

と、立って見るのでは、視点の高さにかかなりの差があるので、前者に配慮することで後者に若干の負担をかけてしまう部分があるからです。考え方としては、特定の人に負担を集中させるのではなく、可能な範囲で負担を分かち合いたいように捉えて、展示物はやや低めに、特に、作品の情報を文字で記した「キャプション」は低めに展示するようにしています。

文化や言語の違いについては、海外から日本への観光旅行者、いわゆる「インバウンド」の増大から、近年になって取り組みが急速に進められています。当館でも、海外からの観覧者をお迎えすることが目に見えて増えています。展示の多言語化はなかなか簡単ではありません。

「漫画」を主に扱うことから、展示観覧において「読む」側面が強く、美術のように「眺める」展示や、科学博物館的な「触る」展示に比べて、言語の壁が高く、また、多いのです。

今年4月1日から、取り組み

の第一歩として、多言語の音声ガイド（無料）を導入しました。常設展示の各コーナーが、どのような性質の資料を展示し、何を伝えようとしているのか、展示の概略を音声と文字でお伝えするものです。観覧者ご自身のスマートフォンを操作することで、日本語・英語・中国語（文字表記は繁体字と簡体字の2種）・韓国語・フランス語で音声の再生や解説文の表示ができます。

これまでも、事前にお申し込みいただいた団体観覧の方には、館内ツアーを行ってまいりました。海外の方は通訳の同伴が必要でしたが、ごく簡単な解説であっても声でお伝えすることで関心や理解が深まり、それは日本人も同様です。この音声ガイドによって、いつでも気軽に館内ツアーを体験していただけたというわけです。次回ご来館の際に、ぜひ一度体験してみてください。

Information

【常設展示入館料】
一般400円(320円) 中高生200円(160円)
小学生100円(80円) 小学生未満無料
※()内は団体料金
【開館時間】
午前11時～午後7時
(入館は午後6時30分まで)
【休館日】毎週火曜日
【お問合せ】
北九州市漫画ミュージアム
093(512)5077



今年4月1日から稼働中の音声ガイド(無料)。スマートフォンを操作することで音声の再生や解説文の表示が可能

美術 hiroba

美術館へ行こう！

北九州市立美術館 学芸員

長峰真奈美 Manami Nagamine

コレクション展I 特集 色と形にみる音のはじまり

作品から語りかけてくる声、作品から聞こえる音に耳を傾けてみませんか。

美術館本館では、コレクション展I 特集「色と形にみる音のはじまり」を開催しています。当館の所蔵するコレクションの中から「色・形・音」をテーマに、色彩や造形などの視覚効果とともに、音や音楽を喚起させるような作品を厳選しました。

「音」とは、メロディーとリズムを伴う音楽だけでなく、風や鳥のさえずり、木々や川のせせらぎなど、自然の音から雑踏のざわめきのような生活の音まで、さまざまです。そうした「音」の世界は、じつは美しい色彩と豊かな造形が織りなす美術作品の中にも潜んでいます。

例えば、田淵安一《ハートの合唱》(図1)からは、どんな音が聞こえてくるでしょうか。鮮やかな色彩と幾つものハートが浮遊する画面から、幸福感にあふれた高らかな音色を感じま



図1 田淵安一《ハートの合唱》
1974年 当館蔵

す。また、切り紙絵が美しいアンリ・マティスの画集『ジャズ』(図2)は、当初『サーカス』と題される予定だったところ、切り紙絵が奏でる即興性がジャズの精神につながるとして、このタイトルになりました。マティスは、「それぞれのページは、音が鳴り響く場を形成し、それらの個性にあわせて支え、包み込み、守っている」と記しています。

作品から音が直接聞こえてくることはありませんが、音楽を演奏する様子が描かれていなくても、このように色と形から「音」を感じることができます。

本展では、アンリ・マティス『ジャズ』(図2)、アルマン《ヴァイオリン論》のような音楽や楽器そのものを描いた作品や、風景から自然の音が感じら



図2 アンリ・マティス『ジャズ』1947年
当館蔵(前期展示)



図3 草間彌生《イエロー・ドッツ》1982年 当館蔵

れる、クロード・モネ《睡蓮、柳の反影》などの作品をご紹介します。そのほか、草間彌生《イエロー・ドッツ》(図3)、高橋秀《空間の中の6つの形》(図4)など、リズムミカルに並んだカラフルな色彩と形体の作品もご覧いただけます。

それぞれ作家たちの表現に用いる素材や方法は異なりますが、色と形が響きあった作品からは、見事なハーモニーが奏でられています。

当館コレクションを何度かご覧いただいた方も、今回はまた違った視点で鑑賞することで、新たな発見や驚きがあるかもしれません。ぜひ会場で、自分だけに聞こえる音を楽しみながら美術のおもしろさや作品の魅力を探してみてください。

Information

コレクション展I 特集 色と形にみる音のはじまり

【会場】北九州市立美術館本館
【会期】4月14日(土)～7月29日(日)
※前期・後期で版画作品の展示替えをします
前期：4月14日(土)～6月10日(日)
後期：6月12日(火)～7月29日(日)
【開館時間】午前9時30分～午後5時30分(入館は午後5時まで)
【観覧料】一般150円(120円) 高大生100円(80円) 小中生50円(40円)
※()内は20名以上の団体料金
※障害者手帳、年長者施設利用証(北九州市交付のもの)を提示の方は無料
【お問合せ】093(882)7777

Event

〈学芸員によるギャラリートーク〉

【日時】
6月9日(土)、7月7日(土)午後2時から
【場所】展示会場内
※申し込みは不要、ただし本展観覧料が必要です



図4 高橋秀《空間の中の6つの形》
1974年 当館蔵



『松本清張記念館開館20周年記念事業』チラシ



清張アラカルト

北九州市立松本清張記念館 事務局 企画係長

檜垣一美 Kazumi Higaki

開館20周年記念トークショー 「TVプロデューサーと脚本家が語る清張ドラマの世界」

『Cut!・かるかる』のメディアサイトのほうでひっそりご紹介させていただいたのですが、5月20日まで開催してありました「開館20年の軌跡展」終りなき探求」に「清張作品総選挙」というコーナーがありました。

松本清張は生涯で約1000編の作品を残しました。書籍化されただけでも700冊を超えています。記念館としては、おおむね人気のある作品は分かっているつもりではいたのですが、今回は「清張作品総選挙」と銘打って、作品の人氣投票を行ったわけです。さてどの作品が1位だったか、予想できませんでしょうか。

投票結果は、8月に館報や記念館にて発表します。が、現在（※この原稿を書いているのは4月です）の開票速報だけ、書いていきたいと思います。

1位 砂の器
2位 点と線
3位 黒革の手帖
4位 或る「小倉日記」伝
投票して下さったのは12歳

から77歳までさまざまな年代、さまざまな地域の方でした。それぞれ清張への想いも書いてくださっていて気持ちも伝わってきました。

この速報を見て分かる通り、映像化された作品を好きな作品に挙げている方が多く、コメントを読んで「映像を見て興味がわき本を読んだ」という方が多いようです。

松本清張原作の映画は36本、ドラマは記録が確かなものだけでも600本近く制作されています。これだけ作品がドラマ化された作家はなかなかいないかと。

その背景には、ちょうど高度成長期の日本でテレビが普及していくなか、それにともなって人気小説がテレビドラマ化されていたということではないかと考えられます。

記念館で行っているドラマ（NHKからの寄贈DVDによる）上映会の作品には、ほとんどの作品に清張本人が登場しています。せりふ付きの重要な役柄もあり、堂々たる役者ぶりです。

自身の作品がドラマになっっていく過程が知れたかったのだろうか、それとも純粹に役者を楽しんでおられたのだろうかとか、気になるころではあります。が、さまざまなことに興味があったといわれる清張ですから、その両方ともでしょうか。

そして、亡くなった後からも新しいドラマが制作され、平成生まれの視聴者にも受け入れられているというのも、松本清張作品の魅力の一つなのかもしれません。

昨年、武井咲さん主演の「黒革の手帖」が制作・放映されました。この黒革の手帖を手掛けたのが、北九州市出身のプロデューサー、内山聖子さんです。

「ドクターX」外科医・大門未知子」や「BG」身辺警護人」など話題作のゼネラルプロデューサーでもあります。

なんとその内山さんと、脚本家の浅野妙子さんのトークショーを、開館20周年記念事業の一つとして、この北九州で開催できることになりました。浅野妙子さんといえば、90年代に「ラ

Information

北九州市立松本清張記念館
北九州市小倉北区内2の3

【開館時間】午前9時30分～午後6時
(入館は午後5時30分まで)

【常設展示観覧料】
一般500円 中学生300円 小学生200円

【お問合せ】093(582)2761

ブジエネレーション」や「神様、もう少しだけ」などのドラマの脚本を手掛け、4月に公開された映画「ママレード・ボーイ」の脚本も書かれた方で、清張作品では「霧の旗」や「時間の習俗」「共犯者」「かげろう絵図」などの脚本を執筆されています。

清張作品を手掛けたお二人が「TVプロデューサーと脚本家が語る清張ドラマの世界」というタイトルで熱い(?)トークを行います。

日程は、6月21日(木) 午後2時から。場所は、北九州芸術劇場 小劇場です。申し込みは往復はがきで。郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号を記入のうえ、松本清張記念館まで、6月9日(土)までに送ってください。1枚で4名まで記入できます。

清張ファンだけでなく、ドラマフリークの皆さんも必見です。ぜひ、お申し込みください。

演劇 hiroba

演劇の街は、いま

大塚恵美子演劇事務所 代表

おおつか えみこ Emiko Otsuka

演劇と祭り

行橋市に、民家を改造、というよりも、その居住空間そのものを劇場化した、その名も自宅劇場「守田ん家。」がある。そこで6月16日・17日に『自宅劇場文化祭「守祭2018」』が行われる。この「守田ん家。」は北九州でもおなじみの「演劇関係いすと校舎」の拠点である。

今年の参加団体は、結成20周年を迎える「劇団C4」、笑いにこだわってさまざまなチャレンジを続けているコント集団「有門正太郎プレゼンツ」、上演する空間、観客の年齢や国籍にかかわらず、観たらちよっぴり生きやすくなる演劇的作品を発表すべく活動中、だというパフォーミングユニット「PUYUY」、迫力のあるビジュアル、レパトリリーの広さ、そして確かな歌の実力を誇る「カナリア婦人会」の4団体だ。

「C4」と「PUYUY」がA組、「カナリア婦人会」と「有門正太郎プレゼンツ」がB組となり、



『守祭2018』チラシ

A組B組交互に作品を上演する。プログラムの詳細は公式ホームページ (<https://moisai.jindo.com/>) を見ていただきたい。

見どころは二つある。まずは「自宅劇場」そのものである。外観はどうみても民家である。中にはいつてみると……やはり、民家である。事実、長いこと、劇団主宰の守田慎之介の、自宅であった空間だ。その中にひよっこりと演劇空間が登場する。日常と非日常がゆるやかに混ざり合う。全国を探してもこんな不思議な劇場はそうそうないだろう。

もう一つはこれが「演劇祭」ではなく「文化祭」だということだ。その意味は、現場に行ってみればすぐに分かるだろう。過去の守祭では、外に屋台のテントが建てられ、焼きそばやから揚げ、かき氷などを買うことができた。今年も同様の企画を準備中とのこと。観客参加のクイズ大会では、屋台の売り物が賞品として出され、さまざまなものが手作り感満載で、熱気にあふれていて、雑然としていて、学生時代の、あるいは地域での「文化祭」を懐かしく思い出させる。

「演劇は祭りから生まれた」



過去の「守祭」の様子

と呼ばれるべきものなのだろうと思う。

さて、北九州では7月にもう一つ「お祭り」色の強い企画が催される。ここでも何度かご紹介した『劇トツ×20分』2018だ。「上演時間は20分以内」「登場人物は3人まで」「俳優も含め、1団体の参加人数は6人まで」などのルールにのっとり制作された短い作品を上演し、審査員と観客の投票で順位を決めるといふもの。毎年楽しみにしている演劇ファンも多い人気企画だ。今年も激しい闘いが繰り広げられるのが予想される。

と言われることもあるほど、演劇と祭りの親和性は高い。かつて、娯楽の少なかった地方で、旅の役者に地元の人々が演技を教えてもらい、地元のメンバーだけで芝居が打てるように練習し、本番には地域住民がこぞって観に来る、といった習慣が「祭り」へと変化していったという事例もあるようだ。

そして、「文化」とは、人の日々の営みが積み重なってできる地層、あるいは年輪のようなものだと思えることはできないだろうか。まだ人の住む「家」としても機能している「自宅劇場」で、演劇と人の生活が混ざり合う「守祭」は、その名の通り「演劇祭」でなく「文化祭」



過去の「守祭」の様子

ノンフィルム資料が語る 「映画の街・北九州」

学芸員 風 恵美 Emi Nagi

Cul 特集Cul 62

松永文庫

多くの歴史的建造物が残る門司港。レトロの街の映画・芸能資料館松永文庫は、国際貿易港として華めいた時代に国際ターミナルとして建築された、旧大連航路上屋内にあります。

門司区在住の映画研究家松永武が、長きに及んで自ら蒐集した資料を公開する私設図書館を開設したのは1997年のことです。自宅を改装して、無料で一般公開を始めた松永文庫は、映画を愛し、常に寄り添ってきた一個人の手によって誕生しました。その後、2009年に映画ポスターやパンフレット、書籍など、映画・芸能に関連する手持ちの資料すべてを北九州市に寄贈。現在は市立の文化施設として、関門海峡を見渡すこの地から映画文化の情報を発信しています。

映画は時代を映す鏡と例えられていますが、娯楽商品である



『北九州市ゆかりの作家原作映画資料展その1』チラシ



映写機

と同時に世界の歴史を映像と音声で記録し、また、表現してきました。それは時に貴重な文化財として、文献資料や写真と肩を並べることもあります。この春「東京国立近代美術館フィルムセンター」が、国内6館目の国立美術館「国立映画アーカイブ」として独立し、話題となりました。日本で唯一の国立機関として映画フィルムの収集や保存を行ってきた同館でも、フィルム・アーカイブの一環でフィルム以外の資料「ノンフィルム資料」の網羅的な収集が行われています。日本における戦前の映画フィルムの残存率は極めて低いとされている中、映画の歴史を知る上で、これらの映画関連資料に大きな期待が寄せられています。

松永文庫は、この「ノンフィルム資料」を専門に扱う資料館として、私設時代から続く独自のスタイルを貫き、たゆまず地道な活動を続けてきました。松永の資料をベースとした所蔵資料は、目下、5万点に達する勢

いで増加し続けていますが、それらの大半は来場者の寄贈によるものです。資料室に整理されたさまざまな関連資料は、大正期から現在まで約100年の現物資料がそろっており、年4回開催している企画展の展示資料は、すべてこれらの所蔵資料からテーマに沿ったものを選んで公開しています。

ただいま、松永文庫では市制55周年を記念した「北九州市ゆかりの作家原作映画資料展その1」を開催しています。豊かな文芸土壌を持つ北九州市は、古くから多くの作家を輩出した街であり、本市ゆかりの作家たちの作品が数多く映画化されてきたことは周知のとおりです。このたびの資料展では、その1として、森鷗外、火野葦平、岩下俊作、松本清張の4人の作家



資料整理に追われる室長の松永武(左)と筆者(右)

に焦点を絞って企画し、多くの映画ファンたちを魅了し続けている日本映画の名作をそろえられた。映画ポスターを中心に展開された多様な映画資料たちが語る「おしゃべり」に耳を傾けながら、「映画の街・北九州」を再発見していただく機会となれば幸いです。



展示室

Information

北九州市ゆかりの作家原作映画資料展その1

【会場】門司区西海岸1の3の5 旧大連航路上屋1F
松永文庫展示室

【会期】4月11日(水)～7月8日(日)

【開館時間】午前9時～午後5時

【休館日】月曜日

【観覧料】無料

【お問合せ】松永文庫 093(331)8013

※詳しくは松永文庫ホームページをご覧ください

<https://www.matsunagabunko.net/home>

かるかる CulCul

Culture&Cultivate

特集
松永文庫
演劇 | 演劇の街は、いま
文芸 | 清張アラカルト
美術 | 美術館へ行こう！
漫画 | 漫画と北九州
Topic | 北九州芸術劇場
音楽 | いろはにぴあの

2018
June
6
Vol.62



火野葦平旧居「河伯洞」
市指定史跡(若松区)〈画:西川幸夫〉